

ノース狂言会

野村万作の

狂言の世界

©致川慎治

六百五十年続く伝統芸能・狂言の世界を
人間国宝・野村万作の至芸と
わかりやすい解説付きでお楽しみください。

2023年

3月11日(土) 14:00開演
(13:30開場)

さいたま市 プラザノース ホール

ニューシャトル加茂宮駅から徒歩約8分 / 定員 370名 (予定) ※公演時間 約100分

◆ チケット料金 (全席指定)

一般……………3,500円
高校生以下…1,500円

※未就学児の入場はお断りします。
※ご予約・ご購入後のチケットの変更や
キャンセルはできません。

◆ 発売日

電話受付 友の会先行 1/12(木) - 一般 1/13(金) ~

プラザノース事業係 TEL.048-669-0300

※電話先行予約期間 (1/12~14) は、お一人様4枚まで承ります。 (10:00~17:00)

受付順に配席するため、お席をお選びいただくことはできません。

※友の会先行予約は販売予定枚数に達し次第、予約を終了させていただきます。

◆ 窓口販売 1/15(日) ~

プラザノース1階 総合インフォメーションカウンター (10:00~20:00)

※貸出施設点検日 (平日の第2・4月曜日) は17:00まで。

※電話受付で完売した場合は、窓口販売及び当日券販売はありません。

チケット購入者限定 (応募多数の場合は抽選)

バックステージツアー開催!

公演終了後、演者による解説付きのバックステージツアーを開催いたします。

普段は見ることでできない、舞台の裏側をご覧ください。

※要事前申込 応募方法はチケットご購入時にお渡します。

悪太郎

悪太郎

悪太郎 深田博治

伯父 石田幸雄
僧 岡 聡史

後見 内藤連

仏師

すっぱ

野村万作

田舎者 飯田豪

後見 福田成生

小舞

鶉舞 内藤連

地謡

岡 聡史

解説

中村修一

お願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来館の際にはチラシ裏面またはホームページの「プラザノース主催イベントにおける感染症対策とお願い」をご確認ください。
<http://www.plazanorth.jp/>

PLAZA
NORTH

主催/さいたま市プラザノース

お問い合わせ/プラザノース総合インフォメーションカウンター TEL.048-653-9255 FAX.048-653-9288

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況など、やむを得ない事情により、公演内容を変更または中止・延期する場合があります。あらかじめご了承ください。

❖ 仏師 (ぶっし)

ある田舎者がお堂を建立し、本尊の仏像を用意しようと都へ仏師を探しにやってくる。往來の中を大声で探している、都のすっぱ(いたずら者)が自分こそ真仏師(正統派の仏師)だと言って近寄ってくる。すっぱは口から出任せで田舎者を信用させ、仏像を翌日までに作る約束をする。翌日田舎者が約束の場所へ行くところ。

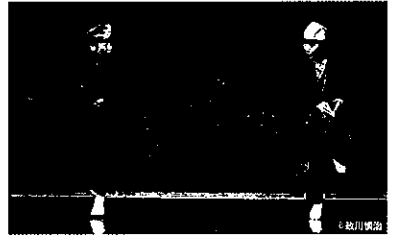
田舎者の注文に慌てるすっぱの姿が笑いを誘います。中世の人間のおおらかなやりとりをお楽しみ下さい。



❖ 悪太郎 (あくたろう)

乱暴者の悪太郎は、酒を飲むことを非難する伯父を脅してやろうと、長刀を携えて出かけていく。ところが、そこでもさんざん酒を飲み、よい機嫌になると、帰る道すがら寝込んでしまう。後をつけてきた伯父は、道端に寝ている悪太郎を見つけて僧形にし、「今後は南無阿弥陀仏と名づける」と言い渡して去る。さて、目を覚ました悪太郎は…。

行き場の無いエネルギーを放出していた悪太郎ですが、「南無阿弥陀仏」と名づけられるのを境に舞台が一変します。狂言らしい笑いに溢れる前半と共に、悟りに至る後半もまた見どころです。



※写真と当日の配役は異なります。

出演者プロフィール



野村 万作 (のむら まんぞく)

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストファーザー賞、朝日賞、旭日小綬章等、多数の受賞歴を持つ。



石田 幸雄 (いしだ ゆきお)

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重鎮。大曲の「三番叟」「釣狐」「花子」をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。「雙ノ会」で芸術祭大賞、個人で観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより「国盗人」など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。



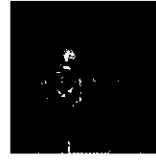
深田 博治 (ふかた ひろはる)

1967年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定者。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」等を抜き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター狂言クラスを指導するほか、全国各地のワークショップで講師を勤めるなど、狂言の普及に力を注いでいる。



岡 聡史 (おか さとし)

1980年生。野村万作に師事。能楽協会会員。「狂言このあたり乃会」同人。文化学院卒業後、狂言の道を志し修業を続け、これまでに「奈須与市語」を抜く。



中村 修一 (なかむら しゅういち)

1989年生。野村万作に師事。能楽協会会員。慶応義塾大学法学部卒業。「狂言このあたり乃会」同人。9歳で入門後、幼少より舞台に立ち、「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を抜く。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、早稲田大学、東京女子大学、共立女子大学の狂言サークル及び松尾塾伝統芸能を指導している。



内藤 連 (ないとう れん)

1986年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第八期研修修了。能楽協会会員。「狂言このあたり乃会」同人。成城大学経済学部卒業。これまでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」を抜く。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、東京大学、お茶の水女子大学、成城大学の狂言サークル及び松尾塾伝統芸能を指導している。



飯田 豪 (いいた ごう)

1989年生。野村万作に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。万作一門の研鑽会「狂言このあたり乃会」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」を抜く。



福田 成生 (ふかた しげお)

1962年生。野村万作に師事。早稲田大学在学中に狂言研究会に所属。

感染拡大防止対策とお願い

- ◆ご来館の際はマスクの着用をお願いします。
- ◆手洗い・手指消毒の徹底をお願いします。
- ◆出演者の面会やプレゼントはお控えください。
- ◆かぜの発熱や37.5度以上(または平熱より1度以上)の発熱がある際は、ご来館をお控えください。
- ◆個人情報には適切に管理いたしますが、新型コロナウイルスへの感染が判明した場合は、保健所など公的機関からの要請により、必要に応じて情報提供を行う場合がございます。

〈アクセス〉

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-852-1

※駐車場は混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用ください。

■電車をご利用の場合

- ・ニューシャトル「加茂宮駅」から徒歩約8分
- ・JR宇都宮線(東北本線)「土呂駅」西口から徒歩約15分

■バスをご利用の場合

- ・JR大宮駅東口より東武バス「上尾駅東口」/「吉野町車庫」行き→「北区役所前」下車
- ・市コミュニティバス(平日のみ運行)「北区ルート」→「北区役所」下車

